

新しい成形方法で広がる

バイオマスアロイプラスチック

の新しい可能性

環境素材に デザインと強度を!

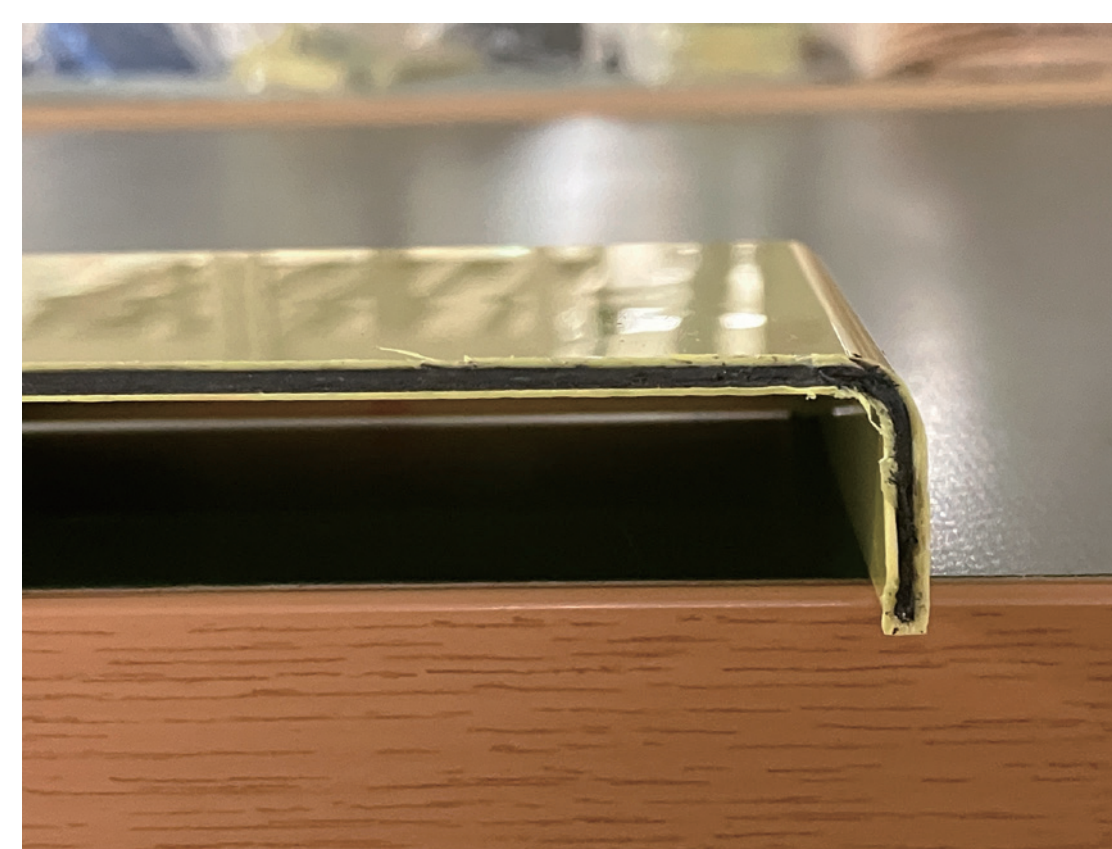
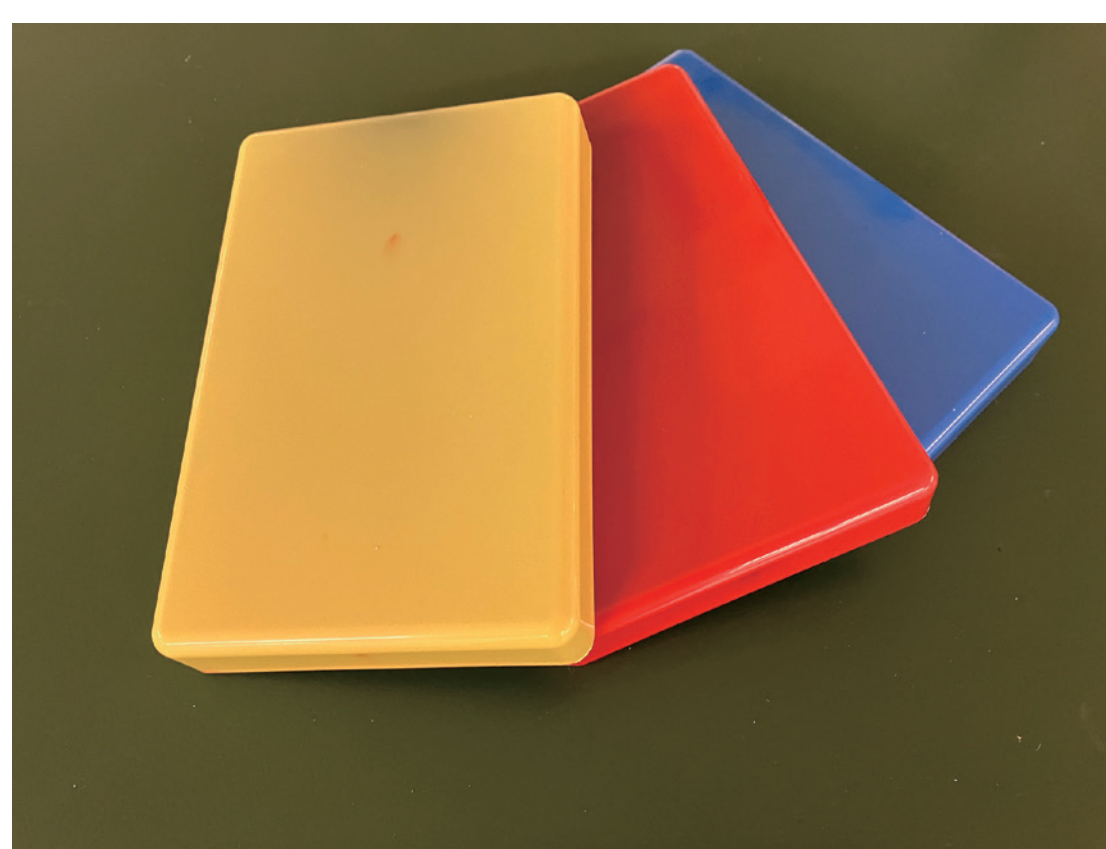
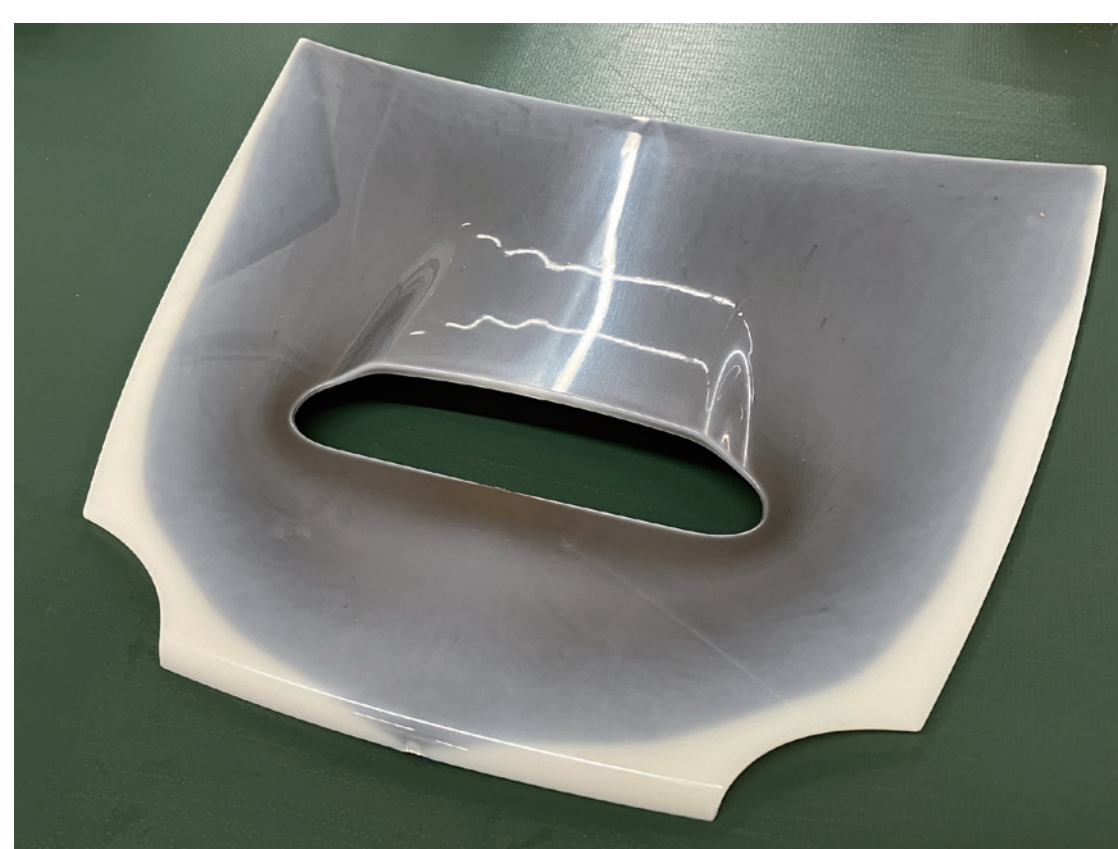
バイオマスアロイプラスチックは
CO₂削減の効果があります。

今の時代、不可欠となりつつある
バイオマスアロイプラスチックですが
まだまだ多くの課題を抱えています。



これらの課題を成形技術で解決するのが 「サンドイッチ成形」です。

サンドイッチ成形とは中間層（コア）にバイオマスアロイプラスチックを使い、表層（スキン）には従来のプラスチックを使うことで機能性と意匠性を両立させる成形技術です。



課題	サンドイッチ成型による解決策
衝撃強度の低下	スキンで衝撃強度をカバーする
外観の制約	意匠性の高いスキンでコアの色を隠す
高バイオマス化	コアにバイオマスアロイプラスチックを高率で充填することで高バイオマス度を実現する
コスト	スキンに従来のプラスチックを使うことでコアのコストを吸収する

材料開発だけでなく、成型技術のサポートも環境対応のカギになります。
信越ポリマーは材料開発に加え、成型技術の提案を行うことで
“機能・デザイン・環境”すべてを融合した新素材時代を築きます。